

## 令和6年度 学校教育自己診断(生徒) 考察

【5. 授業・部活動・行事などを通して、保護者・他の学校・地域の方々などとかかわる機会がある。】

2年生と3年生の評価が過去3年間と比較して高くなっています。今年度は例年通りPTAの取り組みや保育実習等が行われましたが、それに加え、新たな試みとして「ようこそ先輩」が実施されました。ただし、この取り組みは1・2年生を対象としたものであり、3年生の評価には直接影響しません。評価の上昇要因としては、過去年度の中で特に評価が低かった年（令和4年度の2年生、令和3年度の3年生）が平均値を押し下げていたため、今年度の評価が相対的に高く見えた可能性があります。

---

【13. Google Classroom は、学習活動の充実に役立っている。】

【14. 学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。】

ギガスクール構想の開始から4年が経過し、学習ツールとしての利用が定着してきました。特にGoogle Classroomの活用は授業の効率化に寄与していますが、今後は教員だけでなく生徒とも意見を交換し、より効果的な活用方法を模索する必要があります。また、ICT活用能力のばらつきを解消するための研修やサポート体制の整備も課題として挙げられます。

---

【16. 授業に関する質問や勉強方法などについて相談できる先生が多い。】

3年生の評価が高まっている点は、入試を控える時期において非常に良い傾向だと考えられます。この結果は、先生方が日々の忙しい業務の中でも、学問に対する自己研鑽を怠らず、専門的な知識や教養を深め続けていることの成果ではないでしょうか。

---

【22. 私は受験や進路を意識した勉強ができています。】

1年生の評価が一貫して低い状況が見られます。この結果から、文武両道を掲げる学校として、1年生の段階から学習意識を高め、受験や進路を視野に入れた勉強に取り組める環境を整えることが重要です。そのためには、進路指導部や教務部等が連携し、全体的な枠組みを計画的に設計する必要があります。さらに、各教科では宿題の内容や授業スタイルを見直し、生徒が主体的に学びに取り組めるような仕掛けを取り入れるなど、具体的な工夫が求められます。

---

【25. 自分の抱えている悩みを相談できる先生がいる。】

【27. 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。】

【28. 担任の先生以外にも気軽に相談することができる先生がいる。】

特に3年生の担任団の先生方が、生徒一人ひとりに丁寧に時間をかけて向き合ったことで、悩みを相談しやすい環境づくりにつながったと考えます。また、女性教員が多いことも、親しみやすく相談しやすい雰囲気を生み出す要因になっていると考えます。その結果として、例年より高い評価となりました。

**【35. 八尾高校の施設・設備はよく整備されている。】**

同窓会の支援もあって計画的にトイレなどの改修が進められています。設備の清潔さや使いやすさの向上は、生徒の学校生活に直接的な快適さをもたらすので、それが2年生と3年生からの高い評価につながったと考えられます。

---

**【38. 八尾高校のホームページや各種ブログ等をよく見る。】**

全体的に評価が低い状況です。現在、SNSが主流の情報発信手段となっていることが一因と考えられます。広報係としては、再来年度を目処にホームページの大幅な刷新を計画しています。その際、中学生や保護者への広報だけでなく、在校生や教職員にとっても役立つ情報を迅速に提供できるような構成を目指したいと考えています。

これらの結果を基に、各部署で改善計画を立て、さらなる満足度向上をめざします。